

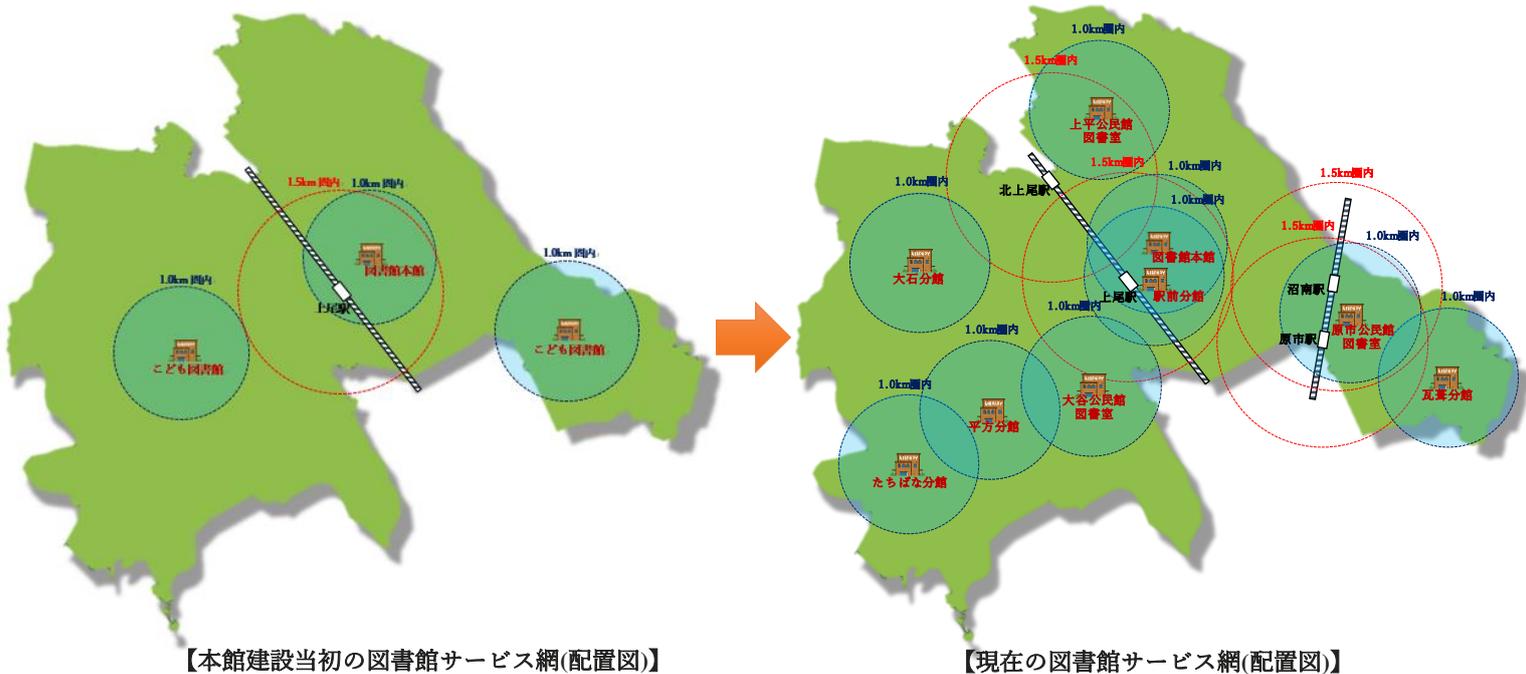
図書館本館の今後を考えるための基本情報

I 図書館の経過(はじめに)

上尾市図書館は、昭和 43 年 8 月に公民館図書活動の一環として、旧上尾市議会議場で運営を開始した後、昭和 46 年 4 月に設置及び管理条例が制定され、上尾市図書館としてスタートしました。(当時 蔵書冊数 13,611 冊)

昭和 47 年 5 月以降、移動図書館(そよ風号)が市内 8 箇所の巡回を開始し、こども図書館 2 館を開設することにより、市内全域に図書館サービスを提供してきました。

図書館本館が昭和 56 年に建設されて以降は、分館や公民館図書室の開設に伴って、上尾市内の図書館サービス網の在り方も変化し、現在、本館及び分館 5 館、公民館図書室 3 館の計 9 館に、子どもの読書活動支援センターを加え、市内の図書館サービス網を形成しています。



【本館建設当初の図書館サービス網(配置図)】

【現在の図書館サービス網(配置図)】

II 本館の現状と課題

昭和 56 年に竣工された現図書館本館は、25 万冊の収容能力を備え、81,850 冊の蔵書を備えて開館しました。

しかしながら、情報化社会の進展に伴い、図書館に求められる情報量も増加の一途をたどり、平成 12 年以降、蔵書数は本館の収容能力を上回り続け、現在は約 32 万冊と大きく超過している状況です。

さらに、インターネット接続端末や学習スペースの拡充など図書館に求められている機能も多様化しており、スペースの面で機能向上の余地がほとんどなくなってきました。

また、開館当初の設備や機器は、機能改善に至るまでの改修や更新工事がなされず、現在までの設備工事等の費用は建設費の 3 割程度に留まっています。

そのため、施設全体の老朽化は著しく、その多くに機能の低下が見受けられます。

	工事費	修繕費	什器・備品
累計	約 1億6000万円	約 4600万円	約 4000万円
主要なもの(抜粋)	空調設備新設・改修 エレベーター改修工事 屋上防水工事 自動扉装置改修工事 外壁補修工事 システム配線設備工事 etc	エレベーター修繕 自動火災報知設備修繕 自動ドア修繕 フラッシュバルブ修繕 非常照明設備修繕 照明設備修繕 etc	開放閲覧PC用ソフト 来館者カウンター 書籍消毒器 固定書架 ブックトラック 机・椅子・ソファ etc

【本館建設時(S56年)からの主な経費の累計額】

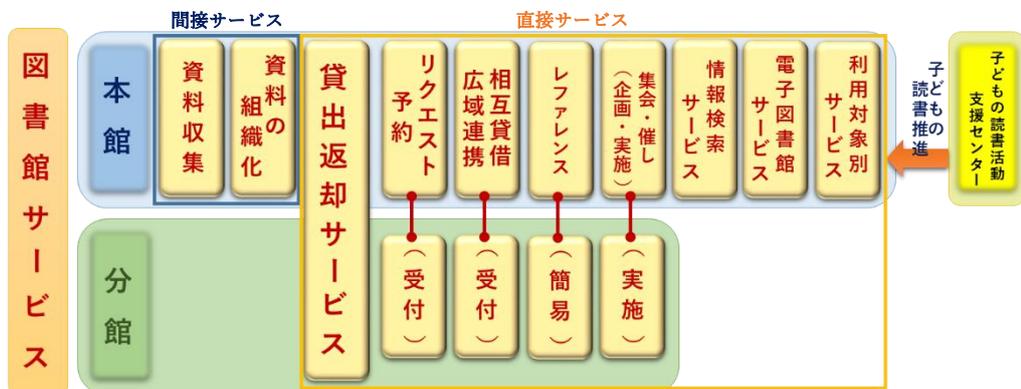
III 図書館のサービス

図書館の役割は、資料や情報の収集および提供であり、閲覧や貸出を通じた資料の提供は、図書館の基本的な機能であると言われていいます。

本館は、これら基本的な機能に加え、レファレンス等情報サービス、利用対象別(高齢者・障がい者・児童)サービス、各種イベントの企画・実施といった利用者への直接的なサービスを提供するほか、資料の収集・装備・組織化といった間接的なサービスを実施するとともに、市の図書館サービス網の中核としての役割を担っています。

分館および公民館図書室は、閲覧や貸出を通じた資料の提供の身近な拠点として、基本的な機能を有しており、全域サービスの一翼を担っています。加えて、リクエスト、予約、相互貸借など、本館で統括するサービスの受付機能を持たせることで、分館や公民館図書室でも多様な図書館サービスの利用を可能にしています。

子どもの読書活動支援センターでは、読書イベントの開催などにより、子どもの読書意欲の向上を図るほか、司書教諭・学校図書館支援員研修会への講師派遣や助言、読書相談を行うことにより、子どもたちの読書活動推進のためのコーディネーターとしての機能を担っています。



【上尾市図書館(本館・分館)の機能(イメージ)】

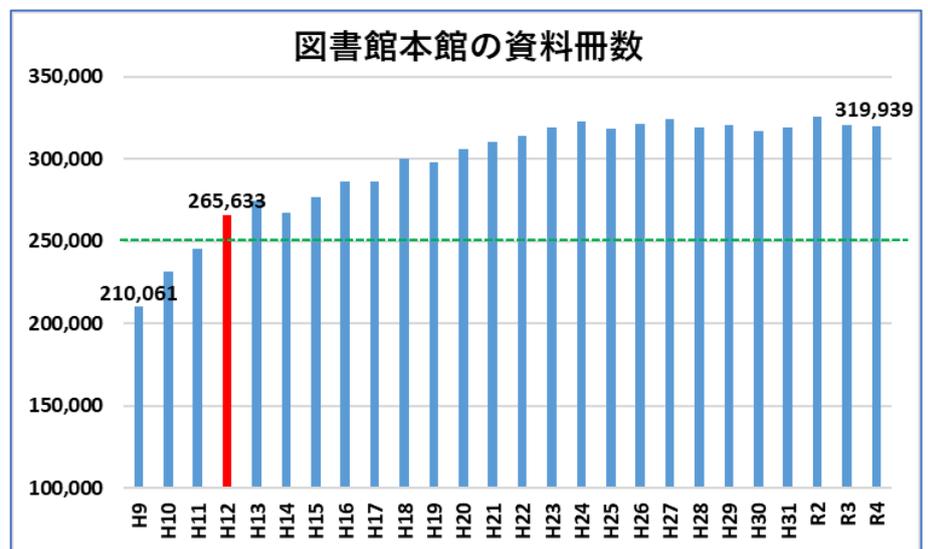
IV 蔵書情報

本館の30万冊を超える蔵書のうち、開架は約11万冊であり、残り約21万冊は閉架に所蔵されています。その他に雑誌と視聴覚資料を合わせて約1万点となっています。

開架での閲覧は、新たな図書との出会いや資料を直接探すことが出来るなど利点が多い一方で、冊数あたりの床面積を多く必要とするため、蔵書の総数や施設の空間利用が大きく制限されます。

また、図書館の蔵書冊数が平成12年以降に建物の収容能力である25万冊を超過していることから、資料の収容が非常に困難となっています。

このことは、ニーズの高い蔵書の収集や魅力的な蔵書の構築を阻む要因となっています。

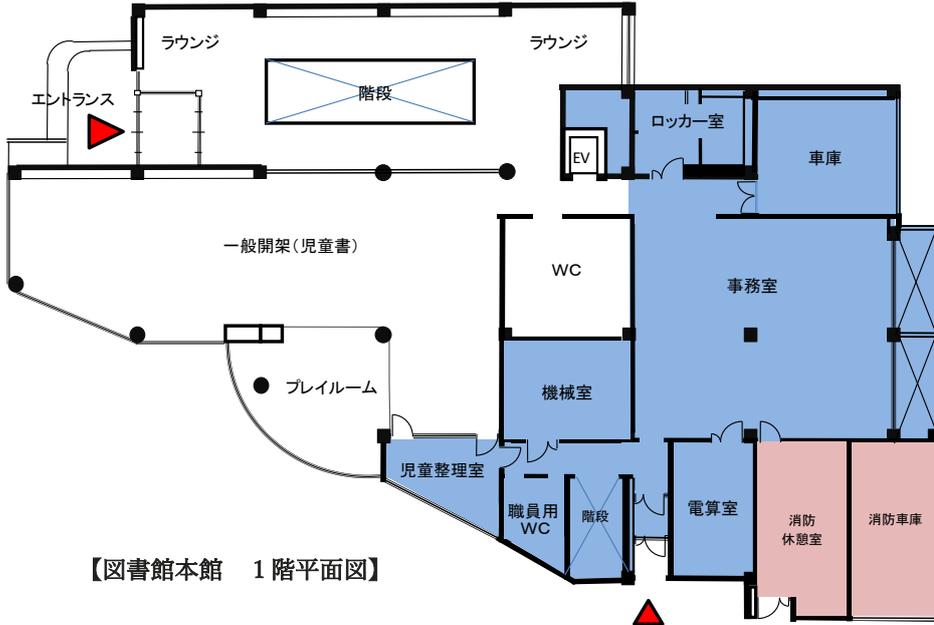


V 施設情報

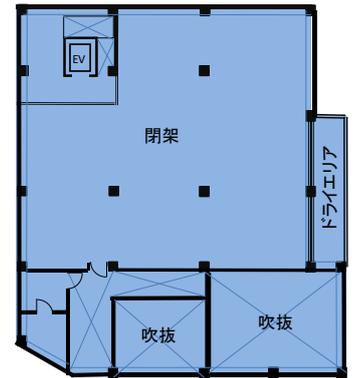
上尾市図書館は地上2階地下2層建て床面積2,376㎡の施設であり、そのうち、利用者に開放しているスペースは、開架を中心とした約1,250㎡(1階：約450㎡2階：約800㎡)です。開放していないスペースとしては、地下の開架書庫(600㎡)や職員用事務室、施設に必要な設備・機械室など図書館の管理運営のためのスペースがあります。

保全状況については、施設や設備の法定点検により安全性を検査し、それらの検査結果を鑑みたくえでエレベーター、空調、防水など部分的な改修を実施してきました。

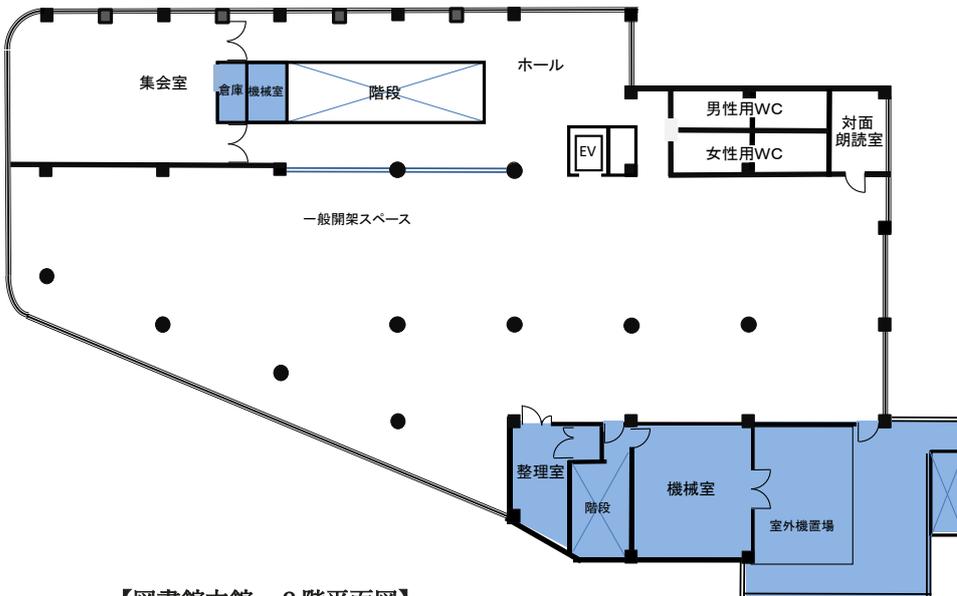
しかしながら、電気・機械の主要部や配管などについては構造上の課題が多いことや運営への影響が大きいことから、現在まで改修に至っていない状況です。



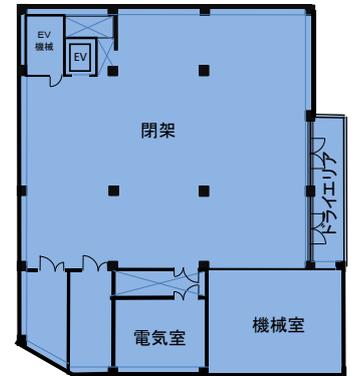
【図書館本館 1階平面図】



【図書館本館 地下積層書庫2層目平面図】



【図書館本館 2階平面図】



【図書館本館 地下積層書庫1層目平面図】

-注釈-

- … 開放部
- … 未開放部 (関係者用スペース)
- … 上尾市消防団 第一分団